

令和7年10月10日

一般社団法人日本透析医学会 施設会員

施設責任者殿

感染対策担当者殿

一般社団法人日本透析医学会

理事長 友 雅司

感染対策委員会 委員長 菊地 勘

「外来維持血液透析患者におけるインフルエンザおよび 新型コロナウイルス感染症の現況」アンケート結果(ご報告)

令和6年3月31日をもって、新型コロナワクチンの全額公費による接種は終了しました。これに伴い、新型コロナワクチン接種は定期接種として位置づけられ、透析患者においては60歳以上の方が定期接種の対象となりました。

令和6年10月1日から開始された定期接種は、自治体によって実施され、各自治体が設定する自己負担額が発生することとなりました。また、60歳未満の透析患者で接種を希望される方は、定期接種の対象外となり、任意接種として全額自己負担による接種となりました。

この制度変更により、新型コロナワクチンの接種率が低下し、それに伴って重症化リスクや致死率が上昇する可能性が懸念されました。さらに、令和6年シーズンにはインフルエンザの大流行が認められたことから、透析患者における新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの実態把握が必要と考えました。

このため、先生方のご協力のもと、令和7年4月に「外来維持血液透析患者におけるインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の現況」に関するアンケート調査を実施いたしました。本アンケートでは、透析患者におけるこれら感染症の現状やワクチン接種率の実態、それらが感染率・入院率・死亡率に及ぼす影響について検討を行いました。

その結果、新型コロナワクチンの接種率は全額公費で実施されていた時期と比較して著しく低下していること、また感染後の入院率および致死率が一般人口と比べて非常に高いことが明らかになりました。

この状況を受け、日本透析医学会では令和7年10月3日付で、厚生労働省に対し「透析患者における新型コロナワクチン接種に関する要望書」を提出いたしました。

本調査の実施にあたり、ご多忙のなかご協力いただきました施設の皆様に心より御礼申し上げます。

結果:

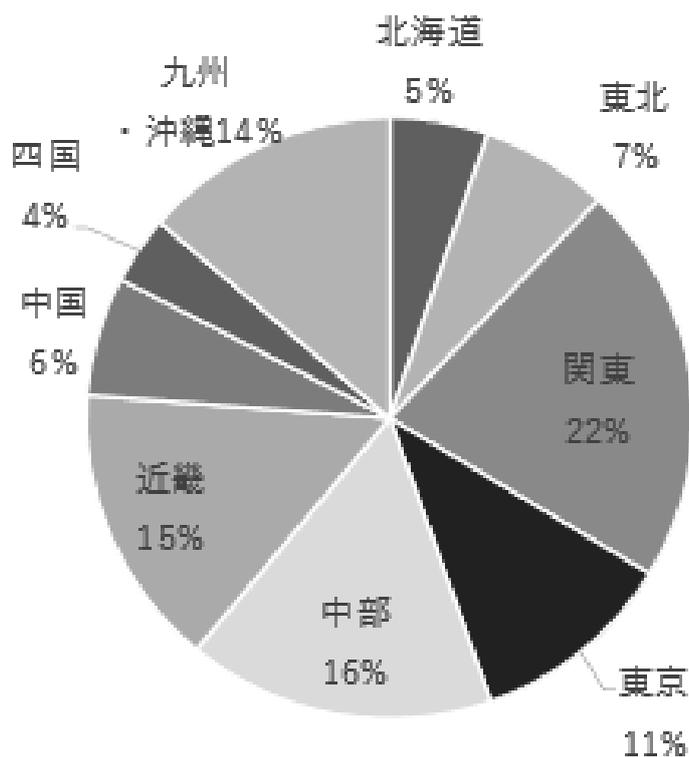
令和7年4月に、日本透析医学会会員施設 4,184 施設にアンケート調査を依頼し、2,176 件〔郵送 1,177 件、Web 808 件〕の回答をいただきました。このうち重複回答 191 件を除いた 1,985 件を一次解析対象としました。さらに、維持血液透析を実施していない 125 施設および施設患者数が未回答であった 4 施設を除外し、最終的に 1,856 件(合計維持血液透析患者数 149,238 人)を解析対象としました。

なお、以下に示す結果はアンケートの単純集計であり、ワクチン接種の有り無し、年齢などの偏りを考慮した解析結果ではありませんので留意ください。今後、感染対策委員会では、背景因子などを考慮した解析を行い、論文化を予定しております。詳細につきましては、今後の論文をご参照ください。

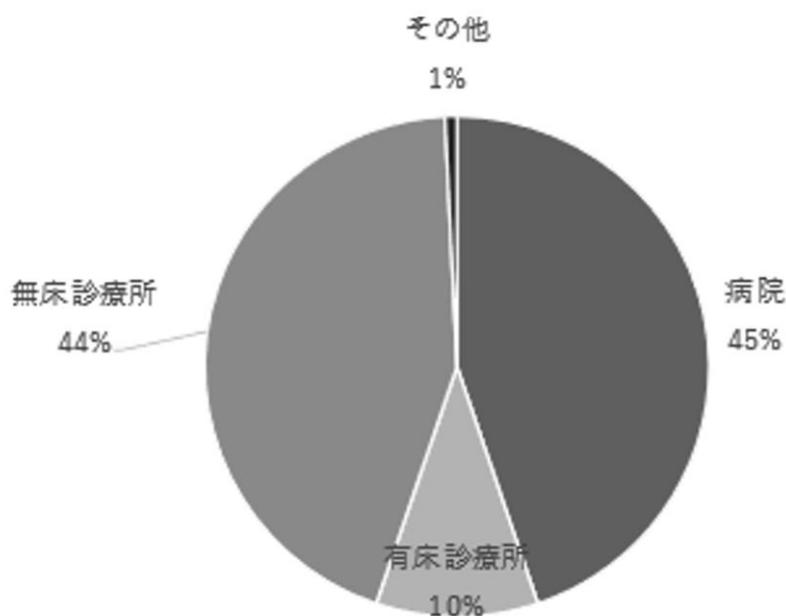
1. 施設概要

回答頂いた施設の地域分布および施設形態、勘や数については下記のとおりです。

回答施設の地域分布:有効回答 1,854 施設



回答施設の形態:有効回答 1,848 施設



維持透析患者数(令和6年3月31日時点)

65.0人(四分位範囲 36.5-103.0)

2. 新型コロナウイルス感染症(令和6年10月より令和7年3月まで)

① 年齢別新型コロナウイルス感染率

年代	感染率
60歳未満	7.6%
60歳以上65歳未満	7.4%
65歳以上75歳未満	6.4%
75歳以上	6.5%
全体	6.8%

有効回答 1,782 施設 透析患者数 142,966 人 感染者数 9,739 人

② 新型コロナウイルス感染者のうち、入院および死亡の割合

年代	入院率	致死率
60歳未満	6.4%	0.6%
60歳以上65歳未満	9.7%	0.8%
65歳以上75歳未満	11.4%	1.4%
75歳以上	20.3%	3.2%
全体	13.5%	1.9%

入院: 有効回答 1,782 施設 感染者数 9,735 人

死亡: 有効回答 1,783 施設 感染者数 9,739 人

③ 新型コロナウイルスワクチン接種率 (接種不明を除く)

年代	全体 接種率
60歳未満	15.2%
60歳以上65歳未満	37.7%
65歳以上75歳未満	47.3%
75歳以上	51.9%
全体	41.5%

有効回答 1,856 施設 接種不明を除く透析患者数 115,402 人

- ④ 新型コロナウイルスに感染・入院・死亡した患者におけるワクチン接種率(接種不明を除く)

年代	感染者 接種率	入院 接種率	死亡 接種率
60歳未満	16.8%	8.8%	0.0%
60歳以上65歳未満	39.5%	38.5%	14.3%
65歳以上75歳未満	41.5%	42.9%	51.9%
75歳以上	48.0%	45.2%	46.0%
全体	38.0%	40.4%	42.4%

感染者: 有効回答 1,783 施設 感染者数 8,046 人

入院: 有効回答 1,806 施設 入院者数 1,106 人

死亡: 有効回答 1,818 施設 死亡者数 144 人

3. インフルエンザ(令和6年10月より令和7年3月まで)

- ① 年齢別インフルエンザ感染率

年代	感染率
60歳未満	7.1%
60歳以上65歳未満	5.6%
65歳以上75歳未満	4.1%
75歳以上	3.9%
全体	4.8%

有効回答 1774 施設 透析患者数 142,443 人

② インフルエンザ感染者のうち、入院および死亡の割合

年代	入院率	致死率
60歳未満	2.9%	0.2%
60歳以上65歳未満	4.3%	1.0%
65歳以上75歳未満	6.2%	1.0%
75歳以上	10.6%	2.9%
全体	6.4%	1.4%

有効回答 1,775 施設 感染者数 6,851 人

⑤ インフルエンザワクチン接種率（接種不明を除く）

年代	接種率
60歳未満	62.5%
60歳以上65歳未満	70.8%
65歳以上75歳未満	78.0%
75歳以上	79.1%
全体	74.5%

有効回答 1,856 施設 透析患者数 127,135 人

- ⑥ インフルエンザに感染・入院・死亡した患者におけるワクチン接種率（接種不明を除く）

年代	感染者接種率	入院患者接種率	死亡患者接種率
60歳未満	54.0%	57.1%	80.0%
60歳以上65歳未満	65.1%	53.3%	42.9%
65歳以上75歳未満	72.9%	61.1%	73.3%
75歳以上	71.6%	70.7%	49.2%
全体	65.6%	65.3%	54.4%

感染者: 有効回答 1,775 施設 感染者数 6,322 人

入院: 有効回答 1,792 施設 入院者数 401 人

死亡: 有効回答 1,796 施設 死亡者数 90 人

4. 外来維持血液透析患者に対するワクチン接種の考え方と状況 (令和6年シーズン)

- ① 透析医療機関における新型コロナウイルスワクチンの推奨

各透析医療施設において、新型コロナウイルスワクチンの接種を患者に推奨したかについて、(1) 重症化や死亡のリスクを説明し、全患者に推奨、(2) 対象患者を絞って推奨(年齢や基礎疾患、合併症など)、(3) 特に推奨せず患者の意思に委任、(4) 推奨しなかった、より選択頂いた結果を示します。

ワクチン推奨行動	有効%
重症化や死亡のリスクを説明し全患者に推奨	47.9%
対象患者を絞って推奨(年齢や基礎疾患、合併症など)	7.2%
特に推奨せず患者の意思に委任	43.0%
推奨しなかった	1.9%
合計(無回答を除く)	100.0%

有効回答 1,815 施設

② インフルエンザワクチンの「推奨」の理由

各透析医療施設において、インフルエンザワクチンの接種を患者に推奨したかについて、(1) 重症化や死亡のリスクを説明し、全患者に推奨、(2) 対象患者を絞って推奨(年齢や基礎疾患、合併症など)、(3) 特に推奨せず患者の意思に委任、(4) 推奨しなかった、より選択頂いた結果を示します。

ワクチン推奨行動	有効%
重症化や死亡のリスクを説明し全患者に推奨	68.5%
対象患者を絞って推奨(年齢や基礎疾患、合併症など)	3.5%
特に推奨せず患者の意思に委任	27.5%
推奨しなかった	0.5%
合計(無回答を除く)	100.0%

有効回答 1,814 施設

③ 今年は新型コロナウイルスワクチンを推奨するか

令和 7 年シーズンに各透析医療施設において、新型コロナウイルスワクチンの接種を患者にどの程度推奨する予定かについて回答頂いた結果を示します。

ワクチン推奨行動	有効%
全患者に推奨	34.8%
対象者を絞って推奨(年齢や基礎疾患、合併症など)	11.9%
特に推奨せず患者の意思に委任	51.4%
推奨しない	1.9%
合計(無回答を除く)	100.0%

有効回答 1,803 施設

以上